#### **の** ぞい てみよう! せ h (1 0 歴 史

暮らし編

# 仙 下の防

仙台市博物館 学芸普及室長 水 野 沙

織

## 仙台城下の火事

町でも火事は身近な災害でした。 あたる町火消しも有名ですが、 築が中心だった江戸時代は、 火事とけんかは江戸の 江戸の町は火事が多く、 華 どの と言うよ 木造建 消 城下 火に

と武家屋敷でした。また、 集中してお 件ほど記録されています。 や風向きの影響により、 暦二月・三月(現在の三月・四月) 戸以上が焼失する大規模な火災が四 かったようです。 城下中心部が被害を受けることが多 仙 台城下でも江戸時代を通して、 り、 火元の約八割は町屋敷 北四番丁以 城下の 火事は、 地形 に旧 南 十 百

> 三三〇メ だついても決められています。 町人地においても、 火に努めることなど、 つけて消 1 火すること、 ŀ ル 四 方の 日頃から火の 風下の屋敷 火事の際の 屋敷の者が は 駆

水路にごみを掃き入れないことなどが

心を心がけ、火消し人足を出すこと、

鍛冶町に置かれ、 定められていました。 火事が発生すると、 虚空蔵堂には出火合図の鐘が設置され、 台へ移されました。 また、 突いて城下に知らせていたそうです。 出火を知らせる火の見櫓は本 江戸時代中期に勾当 三カ所で鐘を激し 亀岡八幡宮、 向

### 火消し出動

火事への備え

火事予防に

H

頃

0)

心が

け

が

重

藩所有の 町・ 、活動にあたりました。 のある川内の消火を担当し、 整備された火消しの規則によれ 組織されていました。 仙 台城下でも江戸と同じく町火消 この五町を除いた町々が大町 支倉町・ 南 馬を追廻へ避難させる役目で 北に担当を分け、 亀岡町・八幡町は仙 江 戸 実際に 時 柳町 代中期 ば は

べきことが定められていました。

さら

!所で出火した際には三丁

火事が起きると、

武士である武頭

いようにすることなど、

日

常的に守る 水が滞らな

な手入れ、

屋敷周

りの

堀の

での花火の禁止、

火消し道具の日

常的

仙台城下の武家地

では、

敷や小路

城

町火消しと火消 木を鳴らして伝えたそうです。 での作業や着衣などが細かく決めら に当たり、 ていました。 水路を確保する役など、 水を掛ける役、 そして、 の足 鎮火すると拍 軽を率 水を運送 -いて消 火事

そのため、 れず消火に手間取っていたようです。 場に出勤しない火消しがいて決められ 人出余りを起こしたりと、 大火事では人手が足りず、小火事では た人数の火消しが動員できなかったり、 く詳細な内容になっていきました。 しかし、 火消しの規則は次第に 実際の火事現場では、 規則が守ら 厳

応について、 私たちも火の始末や、 ですね。 起きてしまっては元に戻らない火災。 日頃から心がけておきた 出火した時の対



勾当台に設けられた火の見櫓 「仙台城下絵図」 文久2年 (1862) 9月 仙台市博物館蔵

全32巻

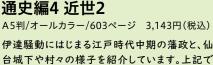
### クアップ紹介

原始から平成元年までの仙台の歴史を

史

わかりやすく紹介! 「通史編」のほか、古代から現代までの 歴史資料で構成される「資料編」、特定 マを詳しく掘り下げた「特別編」、 「年表・索引」があります。





取り上げた「火消し」についても、制度や事例を



既刊紹介や購入方法は 博物館ホームページで ご案内しています。

### 仙台市博物館 SENDAI CITY MUSEUM

▶博物館ホームページ 仙台市博物館

台市史◆

より詳しく知ることができます。

| 検 索 ▼ ▶お問い合わせ 〒980-0862 仙台市青葉区川内26番地〈仙台城三の丸跡〉 TEL:022-225-3074 8:30-17:15 ※土・日・祝休日を除く

▶博物館ツイッター @sendai\_shihaku

※当館は現在、大規模改修工事のため休館しています。令和6年4月に再開予定です。